

2018年度 KIPP対人関係精神分析セミナー

精神分析的な心理療法を基礎から学ぶ

2018年5月26日(土) 14:00~19:30

参加料金：一般 9,000円 ・ 学生 7,000円

※このセミナーでは逐次通訳が入ります。

キャンパスプラザ京都5階【第一講義室】

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
各線「京都駅」下車 徒歩5分

第1講義 14時00分~15時30分

「ケースフォーミュレーション再考」
講師：Nancy McWilliams



第2講義 15時45分~17時15分

「Persecutory Objectsと
精神病圏患者との関連」
講師：Michael Garrett



事例検討 17時30分~19時30分 各講義終了後、15分間の休憩があります。

お問い合わせ

一般社団法人京都精神分析心理療法研究所事務局
E-mail : info@kippsyoto.org

Nancy McWilliams先生略歴

現在、米国ニュージャージー州立ラトガース大学応用専門心理学大学院にて、精神分析理論と精神分析的な心理療法を教えています。個人開業もされているMcWilliams先生は、精神分析の研究所である、NPAP (National Psychological Association for Psychoanalysis)を修了し、上級分析家として、またニュージャージー精神分析・心理療法研究所の上級分析家として、精神分析、精神分析的な心理療法、スーパービジョンを行っています。

代表的な著書、『Psychoanalytic Diagnosis』(1994)、『Psychoanalytic Case Formulation』(1999)、『Psychoanalytic Psychotherapy』(2004)は、20ヶ国で翻訳されています。(邦題:『パーソナリティ障害の診断と治療』(2005)、『ケースの見方・考え方』(2006)、『精神分析的な心理療法』(2009))。アメリカ心理学会39部会(精神分析)の前会長であり、Psychoanalytic Psychology誌の編集委員も務めています。

その卓越した臨床力と、表現力により、アメリカ心理学会39部会より、Leadership (2005) 賞、Scholarship (2012) 賞など、多くの賞を受賞。近著の『Psychodynamic Diagnostic Manual』(2006, Lingiardi & McWilliams, 2017(PDM-2))はDSMとICDの精神分析的な心理療法版というべき診断マニュアルとして注目の大作です。

第1講義

「ケースフォーミュレーション再考」

～個別性を概念化することの重要性について～

講師：Nancy McWilliams

現代において、精神病理学は疾病を個別に実体のあるものと捉え、投薬やマニュアル化された技法により治療可能であるとする診断パラダイムによって支配されており、ケースフォーミュレーションの技術は過去のものとして失われつつある。

本講義では、個人を心理療法の仕事の中心に戻す。DSMやICD-10による診断カテゴリー分類より、治療の結果に確実に重要な心の組織化の構成要素について議論する。

また、臨床家が治療のためにどのようにフォーミュレートするかを学ぶ素材となる、近著であるPsychodynamic Diagnostic Manual (心理力動的診断マニュアル)の第2版(PDM-2)についてもコメントする予定である。

第2講義

「メラニー・クラインの“迫害対象 (Persecutory Objects)”と

精神病圏患者との関連」～その治療的意義について～

講師：Michael Garrett

研究や臨床経験から、精神病の幅広い病因と結果が示されているにも関わらず、精神病は生物学的、または化学物質欠損に還元できるものとされ、心理療法を併用することなく、投薬と「管理」のみで治療できるとする考えが現在一般的である。しかし、精神病の症状には意味があり、話す治療(統合失調症の認知行動療法と精神分析的なアプローチを含めて)が役に立つ。

本講義では、メラニー・クラインの精神病的苦しみへの理解の貢献について、その価値を探索し、統合失調症や他の精神病と診断されている患者との治療関係を持つセラピストの助けとなることを目的とする。

◆参加対象◆臨床心理士、精神科医、その他の医療・教育・福祉等で心理臨床に関わっている方。または、それに関わる学生、大学院生。事例の守秘を守れる方。

◆申込方法◆4月上旬にホームページにてお知らせいたします。

一般社団法人京都精神分析心理療法研究所ホームページ <https://www.kippkyoto.org/>

